



# 「映像、ファッション、グラフィティ —グラフィズムの現在進行形—」

荏開津広 (ライター/DJ) × 河合政之 (ビデオアーティスト) × 中島敏子 (『GINZA』編集長) × 林央子 (編集者)  
7月8日 (日) 17:00~18:30 参加費 1,000円 (1drink) 会場: ヒルサイドフォーラム  
代官山・ヒルサイドテラスF棟

1960~70年代、「情報文明の極度の発展」を迎えた時代に粟津潔が提唱した「グラフィズム」は、2010年代のわれわれに何を指ししめすか? ヴィデオ、グラフィティ、ファッション、メディアからグラフィズムの現在形を探る。

(キーワード) 粟津潔の「光像」とビデオ・アート アートのなアプローチで切り込んだ90年代からマクリヒロゲラレタ00年代のファッションへ グラフィズムがストリートで繰り広げられる=グラフィティの持つ可能性 デザイン/ファッション/メディアの親和性 ファッションはなぜ解放されるべきか ストリートカルチャーと「目利き」のアプローチ ネットとしての図像 FAKEとどう立ち向うか アクションとしてのデザイン

荏開津広 (えがいつひろし) ライター/DJ 主な著書『人々の音楽について』(EDITION OK FRED)、主な翻訳『サウンドアート 音楽の向こう側、耳と目の間』(フィルムアート社、共訳)。東京藝術大学非常勤講師。  
河合政之 (かわいまさゆき) ビデオアーティスト その哲学的で先鋭的な映像作品は高く評価され、世界30カ国以上で上映・展示。国際映像展などオーガナイザーとしても活動する。http://www.ref-lab.com/  
中島敏子 (なかしま としこ) 編集者 「BRUTUS」「relax」の編集部を経て、2011年4月よりリニューアルした「GINZA」の編集長。アート、サブカルチャーを盛り込むファッション情報誌づくりで辣腕を振るう。  
林央子 (はやしなこ) 編集者 「花椿」編集部を経て、現在フリーランス。インディペンデントの出版プロジェクト『here and there』発行人。著書に『拡張するファッション アート、ガラーリ、D.I.Y.、ZINE……』など。



ご予約は現代企画室 (gendai@jca.apc.org / tel. 03-3461-5082) もしくは本展覧会受付まで!

## 「マクリヒロゲル、粟津潔の世界」 イベント情報

会期: 6月26日~7月22日 会場: ヒルサイドフォーラム  
http://www.hillsideterrace.com/art/120626.html

○コンサート 料金: 3,000円 \*書籍購入者への特別割引あり

「マクリヒロゲル 沢井一恵」 7月14日 (土) 19:00~20:30 出演: 沢井一恵 (箏弾き)、長谷川将也 (尺八吹き)

○トーク 各回料金: 1,000円 (1 drink)

「粟津潔の博物誌的な好奇心」 7月3日 (火) 19:00~20:30 北川フラム (アートディレクター)

「映像、ファッション、グラフィティ グラフィズムの現在進行形」 7月8日 (日) 17:00~18:30 荏開津広 (ライター/DJ) × 河合政之 (ビデオアーティスト) × 中島敏子 (『GINZA』編集長) × 林央子 (編集者)

「写真と言葉 ひとりずつで立ち上がるために」 7月14日 (土) 17:00~18:30 竹内万里子 (批評家) × 新井卓 (写真家)

「ベン・シャーン、丸木位里、俊、粟津潔と……今、ぼくたちが思うこと」 7月21日 (土) 17:00~18:30 岡村幸宣 (丸木美術館学芸員) × 安田和也 (第五福竜丸展示館学芸員)

「<デザインートーク> デザインの批評・横断・自律」 7月22日 (日) 17:00~18:30 古賀稔章 (編集者) × 大西隆介 (direction Q) × 高田唯 (オールライトグラフィックス) × 橋詰宗

\*コンサートとトークは、すべて定員80名・要予約。

○ワークショップ 参加費: 2,000円 (材料費含む)

「みんなで播りマクリヒロゲル粟津潔 シルクスクリーンでTシャツ、版画をプリントしよう!」

7月8日 (日) / 16日 (祝) 14:00~17:00 (時間内に随時受付・ご予約不要) 協力: 田川セリグラフ